

「いわて防災スクール」実践校の取組

東日本大震災から6年になります。これまで、管内の各小・中学校では、特色ある復興教育の推進が図られてきました。これらの学校の中で、今年度は、奥州市立衣川小学校と一関市立本寺中学校が「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」実践校として取組を行いました。今回は、この2校の実践を紹介します。

あわせて、平成28年度の県南教育事務所の復興教育の取組についての成果と、次年度の方向性をお知らせします。

衣川小学校の実践

1 目標

これまでの防災教育を生かしながら、衣川小学区の災害の歴史を学ぶとともに、「自助」「共助」の精神や「主体的に行動し、自分の命は自分で守る」につながる防災教育を推進する。

2 取組

- (1) 防災・復興学習
 - ・被災地見学
 - ・防災授業公開
- (2) 命を守るための訓練等
 - ・「衣川小中学校緊急時下校マニュアル」の作成
 - ・一斉メール配信による小中合同引き渡し訓練等
 - ・希望者を募っての地域防災訓練への参加
- (3) 防災マップづくり
 - ・学校防災アドバイザーの活用
 - ・災害の歴史学習等
 - ・学区防災マップの作成



3 成果

- ・体験的な学習を通して、地域の防災について自分たちにできることを考えることができた。
- ・防災についての意識を高め、家庭や地域、中学校と連携した活動を行うことができた。
- ・専門家や地域の方のアドバイスを心得て学びを深めるとともに、防災マップを作成し家庭、地域へ発信することができた。

本寺中学校の実践

1 目標 (今年度の重点)

地域で発生が想定される火山噴火について、これまでの防災教育の内容に新たに取り入れる。また、高い防災意識の基礎を築く学習を推進するとともに、自ら考え行動できる力の育成を図る。

2 取組

- (1) 復興教育取組計画の共有と実践
 - ・「防災・復興の日」の設定
 - ・副読本を活用した授業実践
- (2) 栗駒山(須川岳)噴火を想定した防災学習
 - ・専門家による講演及び体験学習
 - ・栗駒山昭和噴火の聞き取り
 - ・栗駒山調査登山
 - ・成果発表会
- (3) 復興支援活動
 - ・フラワーロード(陸前高田市)の整備
 - ・東日本大震災津波当時高校生だった方の講話

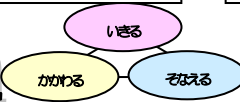


3 成果

- ・専門家の助言を得ながら地域の自然を地形や地質など学問の観点から捉える機会となった。
- ・過去の災害を地域の方に聞き取ったり、学びを伝えたりすることで地域防災の考えが深まった。
- ・活動を通して、命の大切さと被災地に思いを寄せる態度が育った。



平成28年度復興教育の取組



平成29年度復興教育の取組

実践的な防災教育を中核とした「いわての復興教育」の推進

- 実情に応じて復興教育の活動を効果的に行うためのカリキュラムを作成し、「実践」「見直し」「改善」を図りながら3つの教育的価値を育てる。
 - 「いわての復興教育」年間活用計画の作成 100%
- 校内や各地域において中心となる指導者を養成する。
 - 「いわての復興教育・防災教育研修講座(県)」に管内市町立小中学校の代表9名が参加
- 小・中・高を通じて、自他の生命を守る力を育成するとともに、将来の地域防災の担い手を育成する。
 - 復興教育における教育的価値「そなえる」に関わり、授業で防災に関する学習に取り組んだ学校の割合 100%
- 学校、家庭、地域、関係機関の連携による防災体制の強化及び実践的な防災教育の展開により、学校・地域の防災力の向上を図る。
 - 防災教育に係る学校訪問を20校で実施

【数値は「岩手の復興教育」取組状況アンケート調査より】

- 復興教育に係る教育活動について、実践事例等を交えて情報提供します。
- 震災の教訓を生かし防災に対する意識を高めるために講演会を実施します。
- 復興教育が、各教科・領域など通常の教育活動において一層進められるよう、情報提供及び実践交流を図ります。
- 学校の防災体制の確立、防災教育の充実強化のための学校訪問を実施します。